

移民への教育政策

—イギリス、フランス、EU での取り組み—



講師

小山 晶子 氏

(東海大学教養学部国際学科准教授)

青山学院大学国際政治経済学部卒業、英国サセックス大学現代ヨーロッパ研究修士課程修了、仏国ストラスブール大学政治学博士課程修了。専門は、政治社会学、EU 研究、移民の教育政策。主な著書は「非 EU 市民の受入れ方— EU の移民統合政策が進める第三国国民の同化と排除」臼井陽一郎編『EU の規範政治』(ナカニシヤ出版、2015 年)、「フランスとイギリスにおける移民の出身言語と文化の教育」園山大祐編『岐路に立つ移民教育: 社会的包摂への挑戦』(ナカニシヤ出版、2016 年)。

移民の子どもに対する教育政策は、社会統合を促す手段として着目されている。特に欧州諸国では、OECD の統計などによって、受入れ国で出生した第二世代であっても学業達成度があまり芳しくない傾向がみられる国において、教育政策の改善が求められてきた。戦後に旧植民地から多くの移民を受け入れた歴史をもつイギリスとフランスでは、異なる原則に基づいた移民に対する教育政策が展開された。しかし、近年では、これら両国で実施されてきた歴史的な移民の教育政策に新たな変化が生じている。本講演では、近年の新たな政策の傾向について、EU の教育政策による影響などについても触れながら紹介する。

日時: 2018 年 11 月 1 日 (木)

14:50 ~ 16:20

会場: 神田外語大学 7 号館 2 階
クリスタルホール

司会: 河越 真帆 先生

(本学国際コミュニケーション学科准教授)



神田外語大学 グローバル・コミュニケーション研究所